

Ad

【視聴無料セミナー】持続可能な物流の未来のために/7月23日開催

建設DXと働き方改革のすすめ

衝撃事件の核心

ビンラーディンを信奉か ライフルスコープを不正輸出しようとしたインドネシア人兄弟の真意は何だったのか？

2015/12/8 11:00

衝撃事件の核心

武器を不正に輸出した狙いは利益か、それともー。ライフル銃のスコープ（照準器）をインドネシアに郵送したとして、同国籍の兄弟が外為法違反容疑で逮捕された。これだけならありふれた不正輸出事件かもしれない。だが、兄弟のフェイスブック（F B）には国際テロ組織アルカーイダのウサマ・ビンラーディン容疑者の動画が張られ、パソコンからはテロへの強い関心をうかがわせるような痕跡が見つかり、公安関係者に緊張が走った。はたして輸出の真意は何だったのか。

「転売目的」と説明 購入元はネット、転売先は…

「スコープの転売で利益を得ようと思った」「送っただけで、罪になるとは思わなかった」

警視庁公安部に逮捕されたのは、インドネシア国籍で千葉市に住む工員のデニ・ダニエル（40）と、弟で東京都葛飾区の会社員のイルヴァン・アリザル（31）の両容疑者。兄弟は容疑を認め、転売目的だったと供述した。

大量破壊兵器や武器などの拡散を防ぐため、各国は特定目の輸出を規制している。日本も具体的な品目を輸出貿易管理令にも示し、ライフルスコープも規制品に該当する。

兄弟はネットオークションでスコープを約8千円で落札。F Bに写真を掲載するなどして買い手を募集し転売したとみられる。

一方で、公安部はF Bの書き込みに関心を寄せている。

F Bに“大物テロリスト”掲載の意図は

ヒゲを蓄えた男性が、指を突き立てて語っている。デニ容疑者のF Bに掲載されている動画に登場するこの人物は、ビンラーディン容疑者。2001年、米国で起きた同時多発テロを主導したとされる大物テロリストで、11年に米軍部隊に殺害された。

F Bにはイスラム過激派とみられる兵士の画像や、インドネシアで過去に発生したテロに関するサイトへのリンクなども張られていた。さらに、多数のライフルスコープやナイフなどの写真も掲載された。

捜査関係者によると兄弟は平成19年に来日。兄のデニ容疑者は技術者として、弟のイルヴァン容疑者は就学ビザで入国したという。

デニ容疑者は現在、ショベルカーの工員。イルヴァン容疑者は古紙リサイクル会社で勤務している。

自宅や勤務先で、変わった行動はなく、トラブルも確認されていない。「おかしい感じはなかった」。2人を知るという住民らは話す。

「お気に入り」に登録された過激組織

11月25日朝、公安部は強制捜査に踏み切る。同容疑で兄弟を逮捕。自宅を家宅捜索した。室内からは、実際に銃器に付けて使用できるとみられるスコープが計29

そして、押収したデニ容疑者のパソコンからも、複数の痕跡が見つかった。解析から、イスラム教スンニ派過激組織「イスラム国」の動画などが掲載されたサイトを「お気に入り」に登録していたことが判明した。

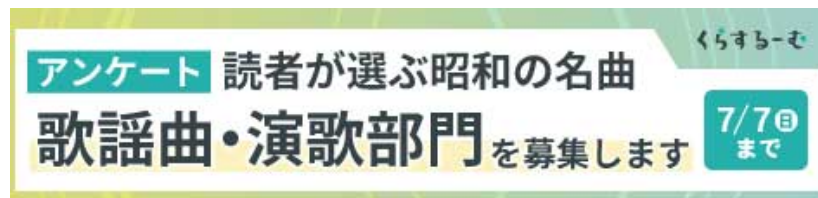
世界で最も多くのイスラム教徒が住むインドネシアでは、イスラム国対策が課題となっている。活発な勧誘により若者らのシリアへの渡航などが続発。影響を受けた国内過激派によるテロの脅威も高まっている。

公安部は兄弟にテロ組織との関連はないとみているが、どのような人物にスコープを送ったかについても詳しく捜査している。

「不透明な部分が多い。慎重に調べる必要がある」。捜査関係者はこう強調した。

特集・連載： **衝撃事件の核心**

ジャンル： **社会** | 事件・疑惑



Recommended by Outbrain



このゲームがゲーマーを画面に釘付けにする理由

BuzzDaily Winners | PR



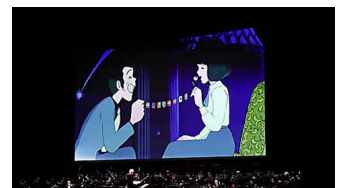
カーブスの5回無料舐めてた、、、！好きな時に5回お試しで脂…

カーブスジャパン | PR



「持続可能な物流の未来のために～物流拠点・輸配送に求めら…

PR



宮崎駿監督「カリオストロの城」主要キャラはヒロイン除き全員…

